



コロナ流行以来、久しぶりの健康相談会 2/8~9日高浜いきいき広場にて

2月8~9両日にわたり、高浜市において無料健康相談会を開催しました。コロナ流行時期は接触を避けるため、電話相談にしていたため久しぶりの対面健康相談会となりました。

高浜・碧南市を選んだのは、どちらも窯業が盛んであり、『日本三大瓦』に数えられる三州瓦の主産地として知られています。



また碧南市はお隣の西尾市とともに鋳物でも知られ、これまでもじん肺で認定した組合員がいます。

相談会開催にあたり、高浜市の『広報たかはま』および西尾市の『広報にしお』への広告掲載、また高浜市の市立図書館や相談会の会場『高浜市いきいき広場』にチラシを置いて貰うなど、地域での告知にとりくみました。

また、4月から3年間、高浜市内において使用される回覧板に広告を掲載する予定です。

相談内容は8日の午前中に、左官をしていた父親が肺がんで亡くなったと姉妹で相談に来られました。その後、鉄工所で働いた難聴の男性、9日は大工をしていた父親が肺がんであるとの相談、また難聴の男性など計4人の相談があり、相談会3日後にも「チラシを見た」との電話がありました。

8日には北信越支部の濱田書記次長が応援に、9日の終了間近には西三河労連の方が「新聞にチラシが入っていたが、建交労はどんな活動をしているのか?」と、差入れ持参で来られました。いろいろ話をしながら、相談会をする地域の地域労連などにも声をかけ、応援をお願いすることが必要ではないかと感じています。相談者の方とともに現在、申請に向けて準備を進めています。

能登半島地震 被害者への支援をお願い 第33回県本部委員会 2/11

2月11日、第33回県本部委員会が県本部3階ホールにおいて開催されました。

開会にあたって田村執行委員長から、「2024年が始まりさまざまな問題が起こっている。能登半島地震やJAL衝突事故、自民党の裏金問題など。そんな情勢の中だが、一致団結して春闘を戦い抜こう」と挨拶されました。



その後、2023年秋期年末闘争の総括、2024年春闘方針(案)及び統一要求基準(案)、会計報告・会計監査報告、戦争反対等平和活動の取り組みなどの提案がされました。

質疑応答では、保育パート

支部から「賃金だけでなく様々な格差が職場で広がっている。処遇改善に向けて頑張る」など決意が述べられ、他に学童保育支部、労職愛知分会などから発言と報告がありました。

分会からは松原さんが、元旦に起きた能登半島地震において、北信越労職支部石川分会の組合員が被害を受けたことを報告し、支援のお願いしました。またトンネルじん肺訴訟7陣は7地裁でほぼ終了したことと、秋のキャラバンの署名が901筆寄せられたことに対しお礼を述べました。

組織拡大の活動状況については、2月8~9日の2日間、高浜で相談会を行い、21~22日は電話相談、3月は岡崎で相談会を行うことを報告しました。

参加者はリモート参加を含め23名でした。委員会が終わるといよいよ春闘の始まりです。最後はみんな「団結して頑張ろう!」で終了しました。



